

水稻奨励品種の決定及び廃止について

1 提案事項

- ・「愛知 135 号」を 2023 年度に、本県奨励品種に採用する。
- ・「あさひの夢」、「ゆめまつり」を 2024 年度に、本県奨励品種から廃止する。

2 品種の概要

(1) 「愛知 135 号」

- ・「愛知 135 号」は愛知県農業総合試験場が愛知県経済農業協同組合連合会と共同で育成し、2020 年に品種登録申請を行い、同年、出願公表された早生熟期の粳品種である。
- ・既存の奨励品種と比較し夏の高温時にも品質が低下しにくい高温登熟性を有しているため、安定して高品質な米の生産ができる。
- ・病害虫抵抗性は、イネ縞葉枯病、ツマグロヨコバイに対する抵抗性を有し、環境負荷を低減した持続的な生産が期待できる。
- ・「あさひの夢」、「ゆめまつり」に比べ大粒で、食味は良好である。

(2) 「あさひの夢」、「ゆめまつり」

- ・「あさひの夢」は愛知県農業総合試験場が育成し、1996 年に奨励品種に採用された早生熟期の粳品種である。
- ・作付面積は、2008 年の 3,220ha をピークに減少傾向が続き、2022 年度は 180ha まで減少している（表 1）。
- ・「ゆめまつり」は愛知県農業総合試験場が育成し、2008 年に奨励品種に採用された早生熟期の粳品種である。
- ・作付面積は、2014 年の 930ha をピークに減少傾向が続き、2022 年度は 530ha まで減少している（表 1）。

表 1 愛知県における稲品種の作付動向 (ha)

品種名	2019年	2020年	2021年	2022年
あさひの夢	320	240	250	180
ゆめまつり	700	630	580	530

- ・愛知県農業水産局園芸農産課推計及び種子需給量からの推定値

3 「愛知 135 号」の採用理由

- ・高温登熟性を有し、夏の高温登熟条件下でも安定して高品質な米が生産できる。

4 「あさひの夢」、「ゆめまつり」の廃止理由

- ・「あさひの夢」、「ゆめまつり」とも作付面積が減少傾向であり、今後とも増加の見通しがないため。
- ・「愛知 135 号」によって、代替が可能であるため。

【参考】愛知135号の作付計画 (ha)

品種名	2025年	2026年	2027年	2028年
愛知135号	1,000	1,500	2,000	2,500